グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称　フューチャーメタバース）

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2026年３月20日～2026年９月24日

交付運用報告書

第９期（決算日2026年９月24日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称フューチャーメタバース）」は、このたび、第９期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所等に上場している仮想世界関連企業の株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第９期末（2026年９月24日）	
基準価額	37,466円
純資産総額	14,273百万円
第９期	
騰落率	32.7%
分配金（税引前）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ＳＢＩ岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

SBI 岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
ホームページ　https://www.sbiokasan-am.co.jp

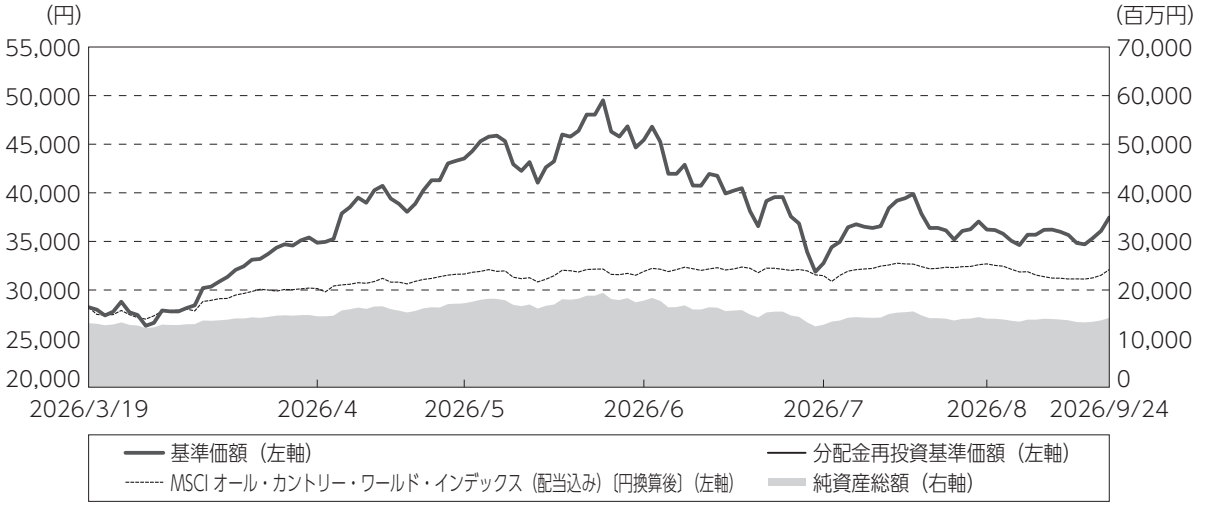
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2026年3月20日～2026年9月24日)



期　首：28,228円
期　末：37,466円（既払分配金(税引前)：0円）
騰落率：　32.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご覧ください。(以下同じ。)
(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2026年３月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

・情報技術関連の保有銘柄などの株価が上昇したことが、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

・個別要因などにより一部の保有銘柄の株価が下落したことが、マイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2026年3月20日～2026年9月24日)

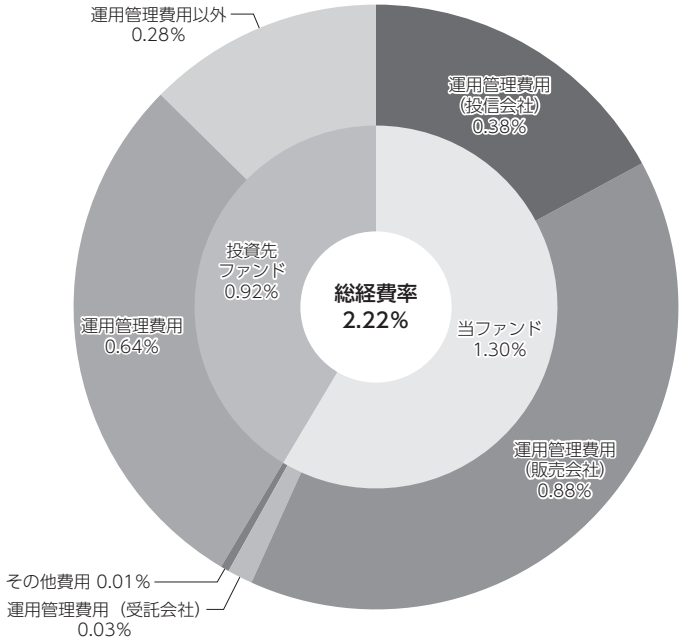
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	245	0.672	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(73)	(0.199)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(166)	(0.456)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.007	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	248	0.679	
期中の平均基準価額は、36,521円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.22%です。



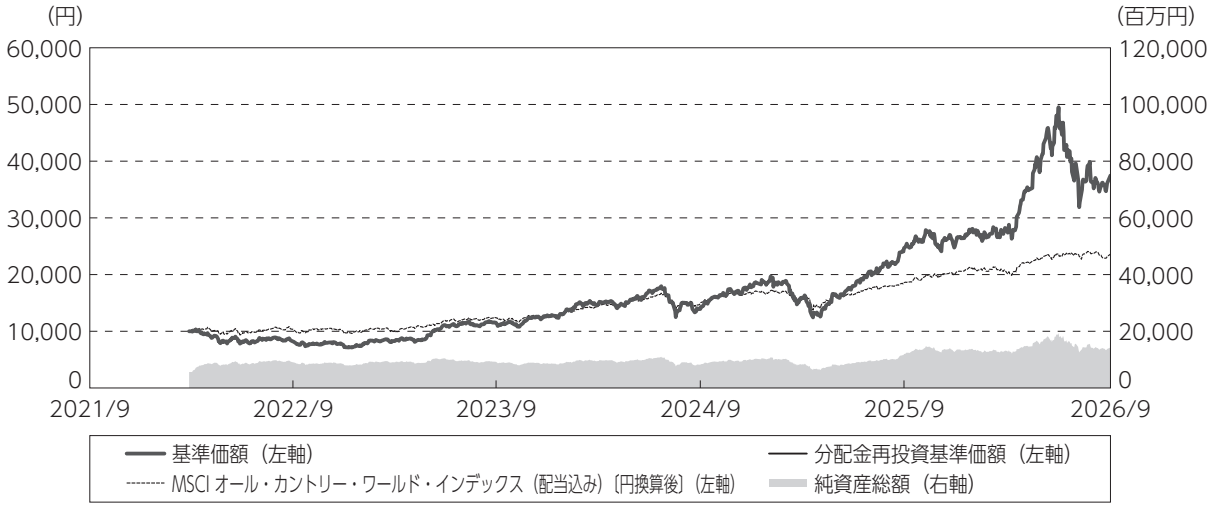
(単位:%)

総経費率(①+②+③)	**2.22**
①当ファンドの費用の比率	1.30
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

(2021年9月21日～2026年9月24日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数です。
(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2022年３月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2022年３月22日 設定日	2022年９月20日 決算日	2023年９月19日 決算日	2024年９月19日 決算日	2025年９月19日 決算日	2026年９月24日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,200	11,505	13,922	24,679	37,466
期間分配金合計(税引前) (円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	△ 18.0	40.3	21.0	77.3	51.8
MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み)〔円換算後〕騰落率 (%)	－	3.5	19.6	20.6	24.5	27.0
純資産総額 (百万円)	5,634	9,074	9,218	8,193	11,939	14,273

(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年９月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2026年3月20日～2026年9月24日)

当期のグローバル株式市場は上昇しました。イラン紛争を巡り、戦闘終結への期待が高まったことなどが追い風となりました。４月に米国とイランは一時停戦で合意し、６月半ばに戦闘終結の覚書を締結したことなどが材料となりました。一方、８月半ばには交渉の進展を欠いたまま覚書は失効しました。世界のエネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡が事実上封鎖されたことが懸念材料となった一方、大手クラウド事業者が人工知能（ＡＩ）計算資源に対する積極投資を継続したほか、宇宙開発やＡＩ開発を手掛ける米スペースＸが史上最大規模の新規株式公開（ＩＰＯ）を実施するなど、ＡＩ関連分野が市場の関心を集める展開となりました。こうした中、メタバース関連では、半導体や電子部品といったメタバースの利用環境を支えるインフラ関連銘柄が上昇しました。特に、ＡＩエージェント（自律的に動作するＡＩ）の開発・普及が本格化した中、複雑な計算処理を支えるＣＰＵ（中央処理装置）を手掛ける企業や記憶装置を手掛ける企業などの株価が良好でした。一方、韓国で個別銘柄に連動するレバレッジ型上場投資信託（ＥＴＦ）が解禁され、その後に規制が強化されるといった動きがあったことから、同市場の主要銘柄である半導体メモリ関連などにおいて株価の変動性が高まりました。

国内短期金融市場では、中東情勢の悪化を背景とした原油価格の急騰を受け、国内のインフレ加速が意識されたことなどから、１年国債利回りは４月中旬にかけて上昇しました。その後、利回りは低下する場面も見られたものの、６月末に発表された骨太の方針の原案を受けて、財政拡張への懸念が強まったことから利回りは緩やかに上昇しました。さらには、８月上旬以降、日銀の９月会合での利上げとその後の利上げペース加速に対する思惑が強まったことなどから利回りは一段高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2026年3月20日～2026年9月24日)

＜グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称　フューチャーメタバース）＞

「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」、「日本マネー・マザーファンド」を主要投資対象とし、「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」を高位に組み入れて運用を行いました。実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

○グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）

当ファンドはメタバースの普及に伴い中長期的な業績成長が期待できる銘柄に積極的な投資を実施しました。当期は、半導体関連銘柄に対する組入比率を引き上げ、半導体製造装置メーカーであるシンガポールのＡＥＭホールディングスや日本のＫＯＫＵＳＡＩ　ＥＬＥＣＴＲＩＣ、半導体ベースの高速接続ソリューションなどを手掛ける米国のマーベル・テクノロジーなどに投資を行いました。一方、相対的な魅力度が低下したと判断したことなどから、コミュニケーション・サービス関連銘柄に対する組入比率を引き下げました。ポーランドのゲーム開発企業であるＣＤプロジェクトや、大手インターネット事業者である米国のアルファベットやメタ・プラットフォームズなどを売却しました。

ハイテク製品やインターネット空間における技術革新が牽引する領域であることから、業種別では情報技術の組入比率が高位となりました。

また、グローバルな投資機会を幅広く追求した結果、米国、欧州、アジアの各地域に分散されたポートフォリオを構築しました。

○日本マネー・マザーファンド

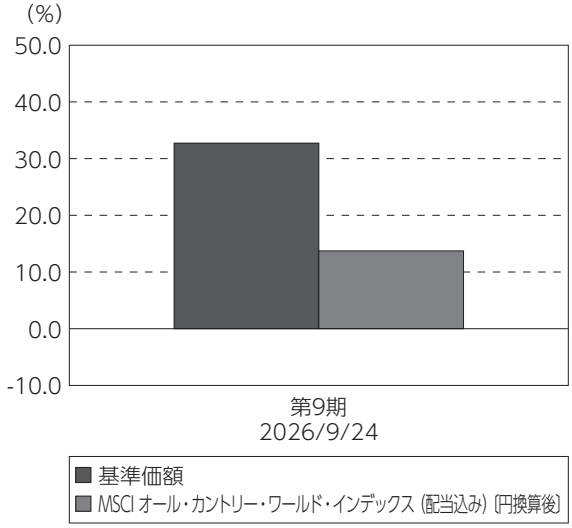
わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債のみを組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2026年3月20日～2026年9月24日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

(2026年3月20日～2026年9月24日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項　　目	第9期 2026年3月20日～ 2026年9月24日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	27,465

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

株式市場では、良好な企業業績と金利上昇の綱引きが続き、高値圏でのもみ合いとなっています。中東情勢は依然不透明で原油価格の押し上げ要因となっているものの、投資家のインフレ期待は総じて安定しています。目下の金利上昇には、債券需給の悪化に加え、ウォーシュ米連邦準備制度理事会(ＦＲＢ)議長による政策運営スタイルの変化も影響しているとみられます。バーナンキ議長就任以降、ＦＲＢは将来の金融政策の方向性を事前に示唆する「フォワード・ガイダンス」を政策運営の重要な柱としてきましたが、ウォーシュ議長は経済環境の変化に対する政策の柔軟性を高める観点から、その役割を後退させる方針を示しています。この方向性の転換は、政策の予見可能性を低下させ資産価格のボラティリティを高める要因となり得る一方、政策エラーが減少しインフレや経済成長の安定性が高まるのであれば、中期的には資産価格にプラスに働く可能性もあり、両面性を持つと考えられます。いずれにしても、現在は新体制発足直後の過渡期にあり、市場が新たな「反応関数」を見極めるまでは、相応の変動性が続くとみています。11月には米国中間選挙を控えており、イラン情勢を経て支持率が低下した共和党の苦戦が予想されます。政治・経済の両面で先行きの見通しが立てにくい状況下、株式市場のボラティリティは今後高まる可能性があります。こうした環境においては、着実な業績成長を実現できる企業の「質」が株価を左右する重要な要素になると考えます。

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げが今後も予想されることから、１年国債利回りに上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

＜グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称　フューチャーメタバース）＞

「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス)」を高位に組み入れて運用を行います。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行わない方針です。

○グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）

メタバース関連企業の中期的な成長性は高く、着実な取り組みの進展がみられます。一例としてスマートグラス（眼鏡型ウェアラブル機器）の開発・普及があり、現実世界とデジタル情報を融合させる動きとして注目されます。当運用チームは、変動性が高まる市場環境は魅力的なメタバース関連企業に割安な価格で投資する好機であり、長期的なリターン獲得の可能性は高まっていると考えています。メタバースは構造的な長期成長テーマであり、メタバースを実現させる革新的な技術を提供する企業や、メタバースにより恩恵を受ける先進的な企業に焦点を当てて投資を行います。

株式への投資割合は、原則として高位を維持します。

○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

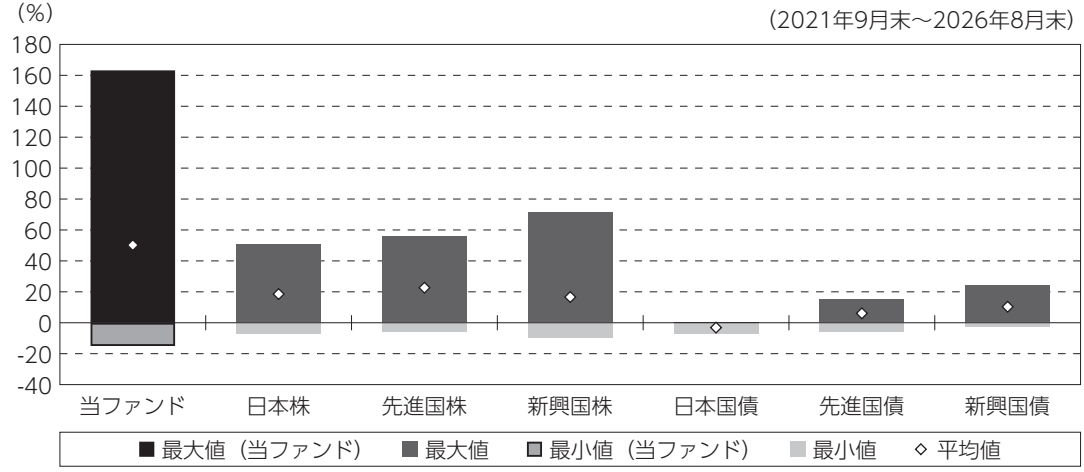
・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日:2026年４月１日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年３月22日から2045年３月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の取引所等に上場している仮想世界関連企業の株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）の受益証券および日本マネー・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)	日本を含む世界各国の取引所等に上場している仮想世界関連企業の株式（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
	日本マネー・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	ポートフォリオの構築にあたっては、仮想世界関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて成長性や株価バリュエーションを精査した上で銘柄を選定します。	
分配方針	年２回、３月および９月の各月の19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	163.2	50.5	55.7	71.2	0.4	15.4	24.5
最小値	△ 15.0	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	50.2	18.6	22.7	16.6	△ 3.1	6.1	10.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2021年9月から2026年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2023年3月以降の年間騰落率を用いています。
(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：東証株価指数（TOPIX）(配当込み)
先進国株：MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA－BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

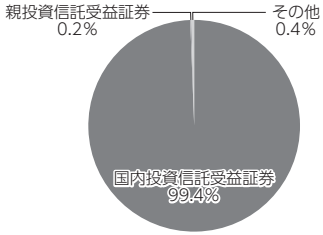
組入資産の内容

(2026年9月24日現在)

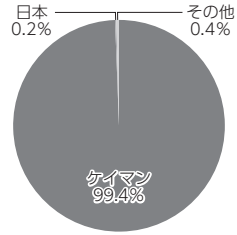
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
	%
グローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)	99.4
日本マネー・マザーファンド	0.2
組入銘柄数	2銘柄

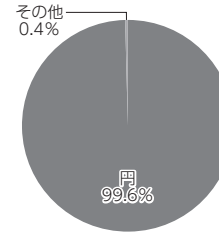
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（円建て）の投資信託受益証券を含めております。

純資産等

項目	第9期末
	2026年9月24日
純資産総額	14,273,223,012円
受益権総口数	3,809,695,385口
1万口当たり基準価額	37,466円

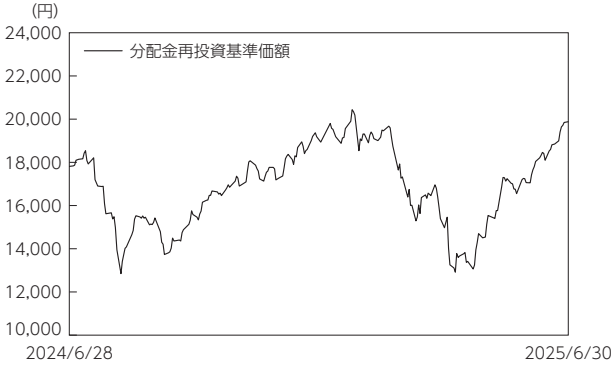
(注) 期中における追加設定元本額は171,807,793円、同解約元本額は1,027,133,699円です。

組入上位ファンドの概要

グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）

※ニューバーガー・バーマンのデータを基に、ＳＢＩ岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2024年6月29日～2025年6月30日)

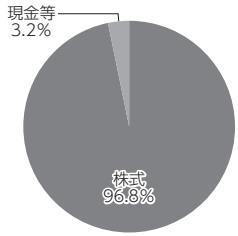
当ファンドにおける１万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

【組入上位10銘柄】

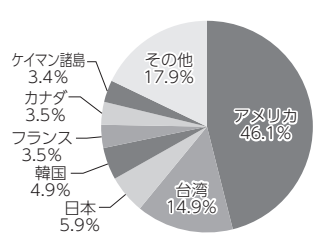
(2025年6月30日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	NVIDIA Corporation	情報技術	米ドル	アメリカ	5.7
2	Meta Platforms Inc Class A	コミュニケーション･サービス	米ドル	アメリカ	5.1
3	Broadcom Inc.	情報技術	米ドル	アメリカ	4.8
4	Applied Optoelectronics, Inc.	情報技術	米ドル	アメリカ	4.1
5	Roblox Corp. Class A	コミュニケーション･サービス	米ドル	アメリカ	3.8
6	AppLovin Corp. Class A	情報技術	米ドル	アメリカ	3.6
7	EssilorLuxottica SA	ヘルスケア	ユーロ	フランス	3.5
8	Celestica Inc.	情報技術	米ドル	カナダ	3.5
9	Credo Technology Group Holding Ltd.	情報技術	米ドル	ケイマン諸島	3.4
10	MARUWA CO., LTD.	情報技術	日本円	日本	3.2
組入銘柄数		50銘柄			

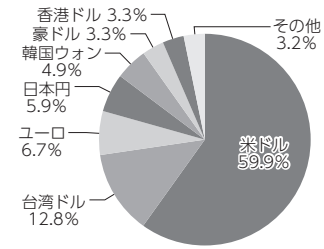
【資産別配分】



【国別配分】



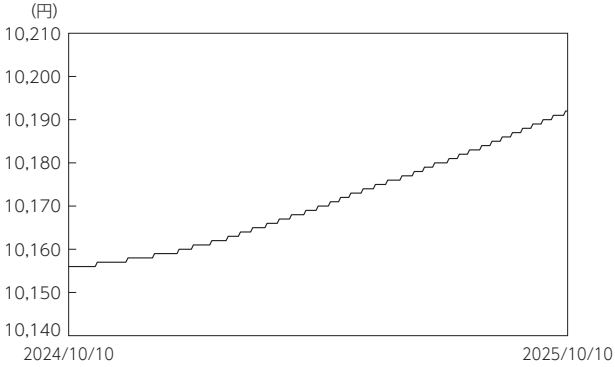
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国（地域）および国別配分につきましては企業の本社所在地を表示しています。
(注) その他にはコール・ローンが含まれる場合があります。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

日本マネー・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月11日～2025年10月10日)

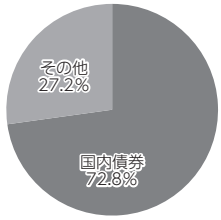
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

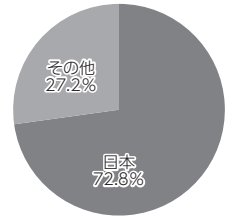
(2025年10月10日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	16.9
2	第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	14.8
3	第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.4
4	第1333回国庫短期証券	国債証券	円	日本	11.4
5	第1320回国庫短期証券	国債証券	円	日本	9.1
6	第1335回国庫短期証券	国債証券	円	日本	9.1
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		6銘柄			

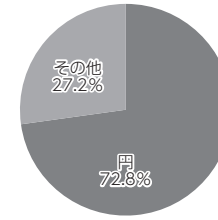
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）(配当込み)
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。